

現状の課題

解決策（改修案）

映像に注意がいきすぎ、ジオラマ自体の見学に意識が向きづらい。

背景映像をストーリー性を弱め、よりジオラマに注意を惹けるようにする。

演出インターバルが長く、見学者の興味が途切れる。

鉄道模型演出10分、インターバル10分、計20分で演出ループを組む。
またインターバル時間帯で、市内観光スポット等の映像をループで上映。
鉄道ジオラマ演出中は単なる背景映像とする。
一方で、サウンドデザインを採り入れ、音環境で世界観を構成する。

ジオラマの魅力である緻密さを楽しむことが、距離があって難しい。

ジオラマの緻密さ、リアルさを楽しむ手法の導入
ジオラマを空きスペースに新たに追加

体験要素が少ないため、ジオラマの楽しみに乏しい

体験運転に主観映像を加えるなど、体験運転の魅力を向上する

リニューアル感を強調するための改修案

コンセプト

リニューアル感溢れるジオラマ自体の魅力向上

- ノスタルジオラマを堪能できる環境
背景映像のストーリー性を弱めるとともに、壁面全面化することで、よりジオラマを堪能できる環境を作る。
ノスタルジーの世界観はサウンドデザインで体感提供。
(既存映像は2Fに新規モニター設置し上映)
- ノスタルジー感溢れる街並みジオラマの見学
近くで見学、ジオラマ内のストリートビュー映像の提供、スポットジオラマの追加
- ジオラマの増設
北陸新幹線開通後の現在の敦賀駅の鉄道ジオラマや、金ヶ崎緑地の開発の将来像の再現ジオラマなどを新規
- 体験運転など、体験要素の充実
ジオラマの楽しみ方のバリエーションを増やし、いろいろな層が喜ぶことのできる施設へのバージョンアップ



背景映像
大型映像化



体験運転の改修

ギミックの追加

来館者によるスイッチでの
可動に変更できるギミックの追加

主観映像

小型カメラで、予め撮影したものを編集し、
来館者の操作により前方後方に移動できる
仕様に変更
手元にモニター追加

ジオラマスポット
の追加

見学エリア拡張

海造形部分を減らし、ジオラマ内部まで
入っていける見学エリアを拡張する

